

環・輪・和・話で繋がりあうまちづくり

—地域と学校をつなぐコーディネーターとして—



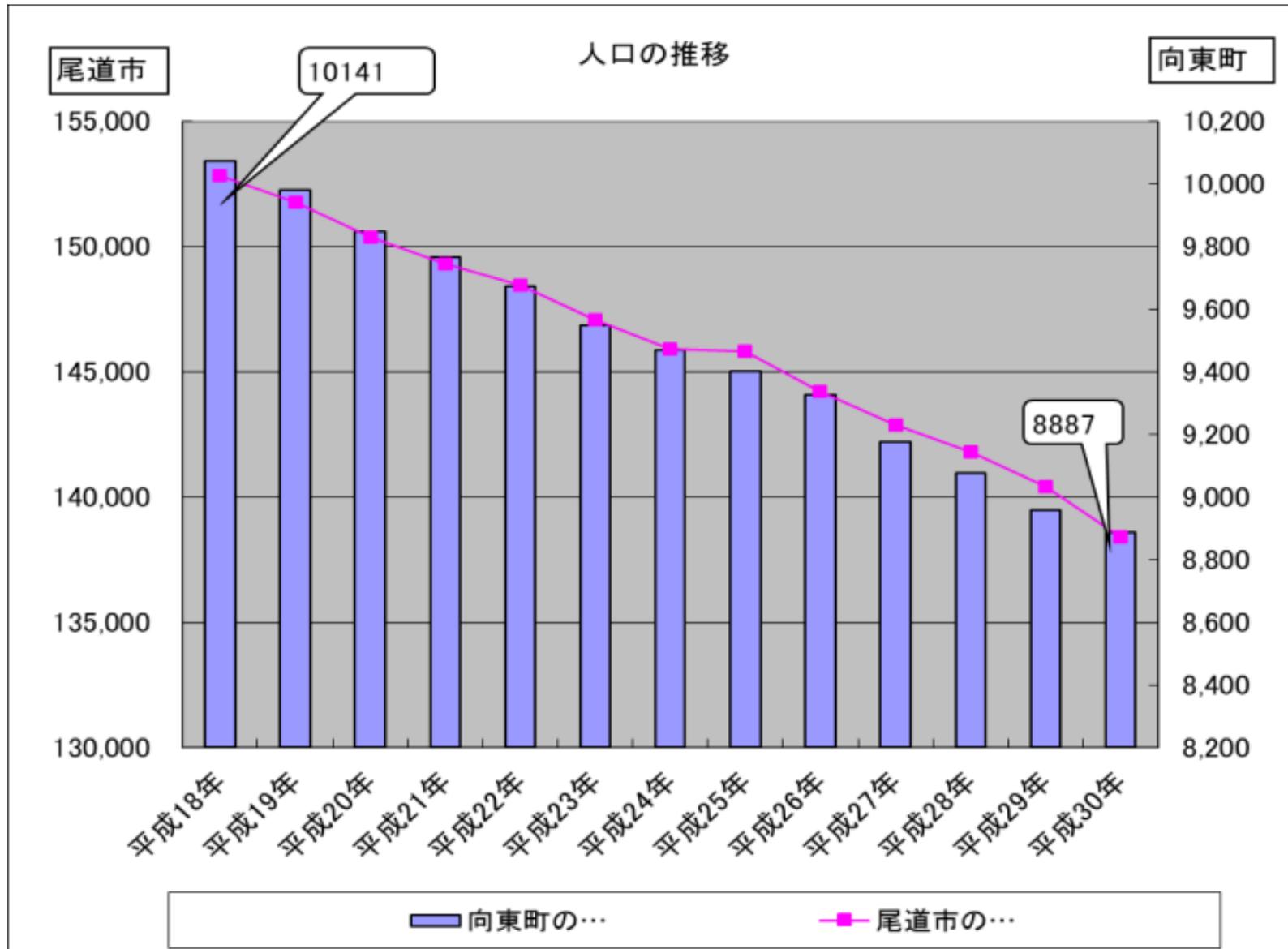
尾道市向東公民館

花咲 法子

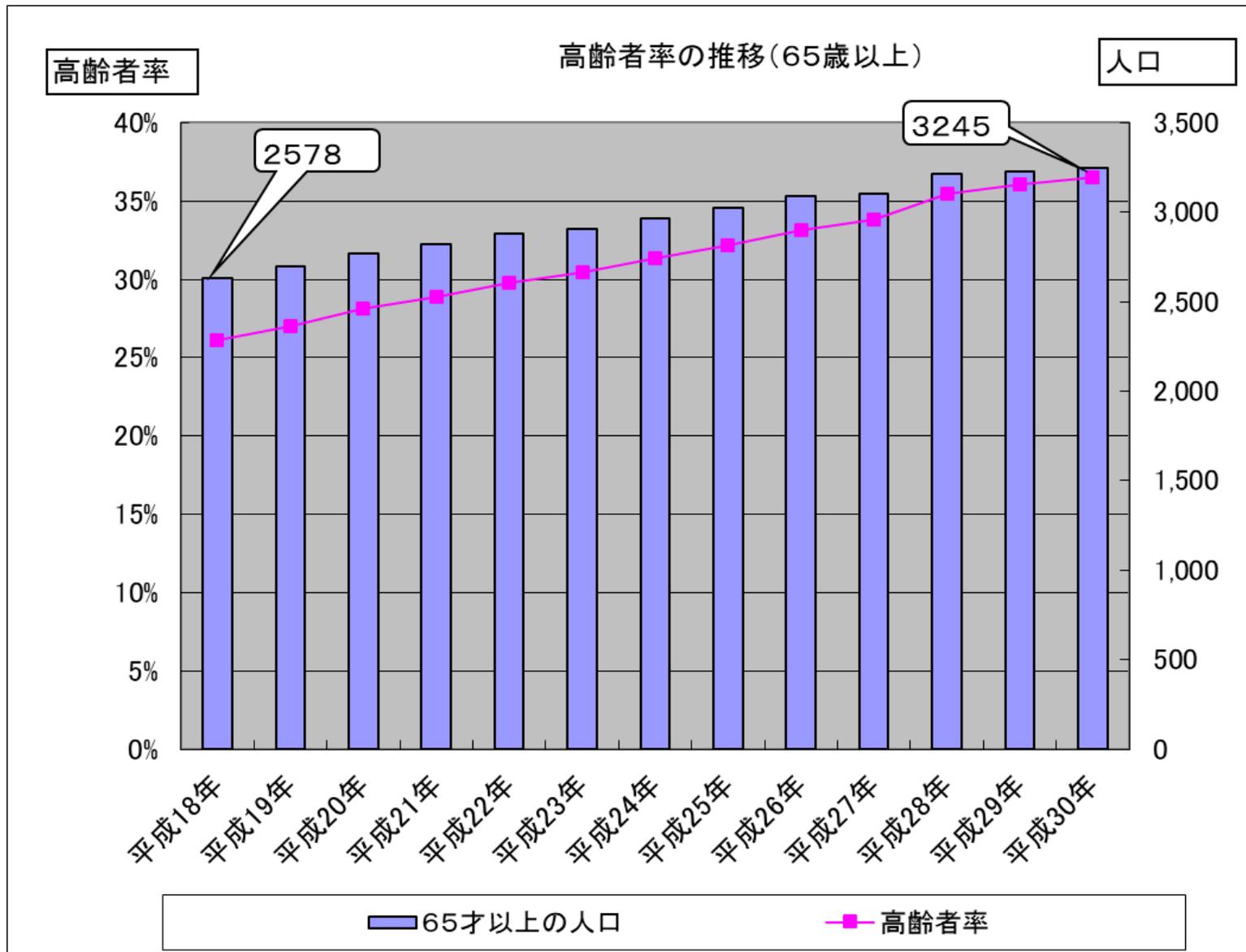
尾道市向東町の紹介



向東町の人口



向東町の高齢者数



向東小学校の児童数の推移

| 年代 | 児童数 | クラス数 |
|--------|---------|--------------------|
| 昭和55年頃 | 1200人以上 | 1学年 5クラス(1クラス43人位) |
| 平成28年度 | 415人 | 1学年2~3クラス |
| 平成29年度 | 412人 | 1学年2~3クラス |
| 平成30年度 | 390人 | 1学年2クラス |



少子化に歯止めがかからない。

向東公民館の概要

- 建物の名称 ・サンボル尾道(尾道市の施設)
- 施設内
 - ・尾道市役所連絡所 [総務課]
職員 2人体制
 - ・尾道市向東公民館
[教育委員会生涯学習課]
職員 館長1人体制
- 施設利用
 - ・一般利用 有料
 - ・公民館利用 無料

地域の公民館の果たす役割

公民館が地域にとって欠くことのできない存在になる。

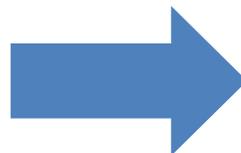
- ・多くの人たちが集まる魅力ある講座の開設
- ・気楽に立ち寄れる魅力ある公民館
- ・人づくり、地域づくりに貢献できるリーダーが育つ公民館
- ・地域の活性化を図るまちづくりの拠点

いかに地域に貢献するか

いかに役に立つか

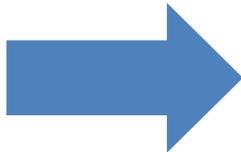


なんの為にする行事か



目的・目標を持つ

どのように何をすれば



手段を工夫する

個の学びから、まちづくりの学びをする公民館へ

向東まちづくりのキーポイント

「今日も楽しかった」「向東を誇りに思う」
「住んで良かった」「子どもにも住ませたい」



地区各種団体

- 公民館主催講座 6講座
- 公民館自主講座 35講座
- 各サークル活動以外の事業や講座

オンリーワン事業 おのみち旬食発見講座 こども物づくり講座
公民館活動者ボランティア体験講座 おのみち公民館いきいき講座

●地域課題や地域交流に関するもの

防災講座 救急講座 子育て支援 老人介護 認知症予防 小・中学生
と大学生の学習コラボ

保幼小中学校

環・輪・話・繋がる

公民館の参観日（第4回公民館まつり）

平成28年11月18日（金）19日（土）

発表だけの場から繋がる場へ

子育て支援

保育所・幼稚園
小学校 中学生
子育てサロン

オレンジカフェ

向東

出前教室 介護知識

繋がる取り組み講座

オレンジカフェへ出前教室で高齢者と繋がる



老人会と小学生が繋がる



クラフト教室と小学生が繋がる



幼稚園と繋がる



繋がる取り組み講座

大学生と小・中学生（寺子屋 i n むかいひがし公民館）



地域の7つの団体が繋がる 防災講座3回シリーズ

- 参加団体・・・ 区長会 地区社会福祉協議会 地区公衆衛生協議会
民生児童委員会 向東町体育協会 老人会 女性会
以上の7団体
- 参加人数・・・ 各団体から4～5人
- 日 時・・・ 1回 11月28日（月）19：00～
2回 1月10日（火）19：00～
3回 2月13日（月）19：00～
- 会 場・・・ 向東公民館 第1、2会議室
- 講座内容
第1回 大きな災害を想定。その時各団体がどう動くか取り組みを検討します。
第2回 サンプルおのみちを避難所として、避難所の運営について演習します。
第3回 向東町の防災対策の手順を考えます。

**防災講座を通して、向東町の各団体が繋がることで、
地域住民が安心・安全に暮らせるまちづくりを目指します。**

各種団体が繋がる取り組み講座 <防災シリーズ>

第1回

11月28日(月)



第2回

1月10日(火)



第3回

2月13日(月)



●平成29年度事業計画



元気なまちづくりを公民館から！

環・輪・和・話で繋がらあう

地区各種団体

- 公民館主催講座 5講座
- 公民館自主講座 43講座
- 各サークル活動以外の事業や講座

オンリーワン事業 おのみち旬食発見講座 こどもモノづくり講座
公民館活動者ボランティア体験講座 おのみち公民館いきいき講座

●地域課題や地域交流に関するもの

防災講座 救急講座 子育て支援 老人介護 認知症予防 小・中学生と大学生の学習コラボ 小学校クラブ活動と教室の連携

保幼小中学校

公民館の参観日（第5回公民館まつり）

平成29年11月11日(土)12日(日)

質の高い文化を求めて

舞台発表 展示発表 体験教室 ビンゴゲーム
まちづくりに関する講演
※実行委員会を立上げて細部の検討をする。

子育て支援

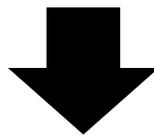
保育所・幼稚園
小学校・中学校
子育て支援センター・サロン等との関わり

各種団体連携

まちづくり講座
防災フェスタ
認知症予防・老人介護の認識

目的

元気なまちづくり
(地域の活性化)



視点

もの？



ひと



こと

(個の学びからまちづくりの学び)

(講座 行事 伝統文化)

目 標

環・輪・和・話で繋がりあう

- ① 環 世代を超えた循環
- ② 輪 つながり
- ③ 和 和を以て貴しと為す。みんな仲良く助け合い
- ④ 話 コミュニケーション

平成29年度 広島県公民館モデル事業指定

指定事業を受ける意義

負荷がかかることで、質の向上が期待でき、地域に貢献できる

防災フェア in 向東！ ～地域を繋ぐ環・輪・和・話～

目的

- ①公民館を核とした地域の防災力の向上
- ②各種団体・小中学校が繋がり、安心・安全に暮らせるまちの基盤づくり
- ③子どもたち及び地域住民の公民館への信頼感醸成
- ④子どもたちの自主・自立性、防災意識の育成
- ⑤地域でこどもを育てる風土づくり

防災フェアin向東!!

～地域を繋ぐ環・輪・和・話～

キーワードは

「子ども」と「連携」



日時：平成30年1月21日(日)

10:00～14:00

場所：尾道市向東公民館

当日までの活動内容と日程

- ①公民館協議会で具体的企画・立案 . . . 平成29年8月5日(土)
- ②連携団体へ「防災フェア」実施説明会 . . . 平成29年11月6日(金)
- ③防災フェアの具体的活動の打ち合わせ会 . . . 平成29年12月2日(水)
- ④小学生・中学生との打ち合わせ
(子どもの役割の、司会・クイズの出題・活動説明・炊き出し等について)
. 平成30年1月13日(土)
- ⑤前日準備と連携団体・対象の子どもとの交流 . . . 平成30年1月20日(土)
- ⑥防災フェア . . . 平成30年1月21日(日)

①から⑤の取り組みが、地域のネットワークづくり



目的・目標

「防災フェア in 向東」の連携団体

区長会、社会福祉協議会、公衆衛生推進協議会、
民生委員児童委員、体育協会、女性会、老人会、
保健推進委員会、消防団、地域包括支援センター、
防災アドバイザー、向東小学校児童、向東中学校生徒、
向東小学校PTA、向東中学校PTA、
尾道市総務課生活安全係

16団体

当日の活動名（7つのブース）

| 番号 | 活動名 | 場所 | 担当団体名 |
|----|-----------------------|-----------------|--|
| 1 | 防災グッズ展示と説明 | 第一研修室 | 総務課生活安全係 防災アドバイザー 消防団 小学生 |
| 2 | 負傷応急処置の方法 | 和室 | 女性会 消防団 |
| 3 | 防災クイズ大会 | 第二研修室 | 民生委員会 小学校PTA 小学生 中学生 区長会 |
| 4 | 防災マップづくり | 第一会議室 | 総務課生活安全係 老人会 公衛協 地域包括支援センター 小学生 中学生 |
| 5 | 段ボールで簡易トイレづくり | 第二会議室 | 体育協会 区長会 小学校PTA 中学生 |
| 6 | 炊き出し体験 | 受け取り (一階ロビー) | 保険推進委員 小・中学校PTA 小学生 中学生 |
| 7 | 講演（被災者・柿本和彦様のお話を聞きます） | 第一・第二会議室 | 社会福祉協議会 |

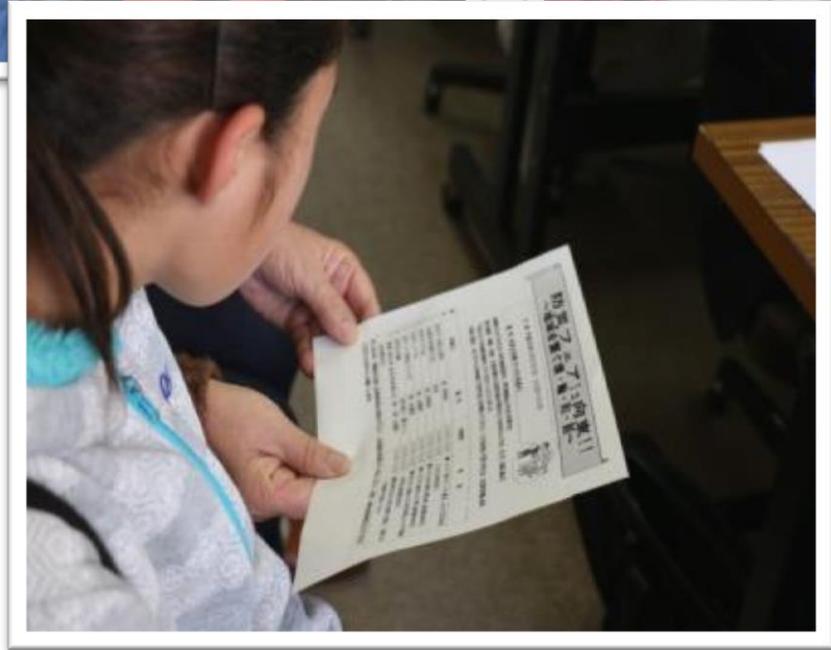
11月6日（金）実施説明会





12月2日（水）活動等の打ち合わせ会



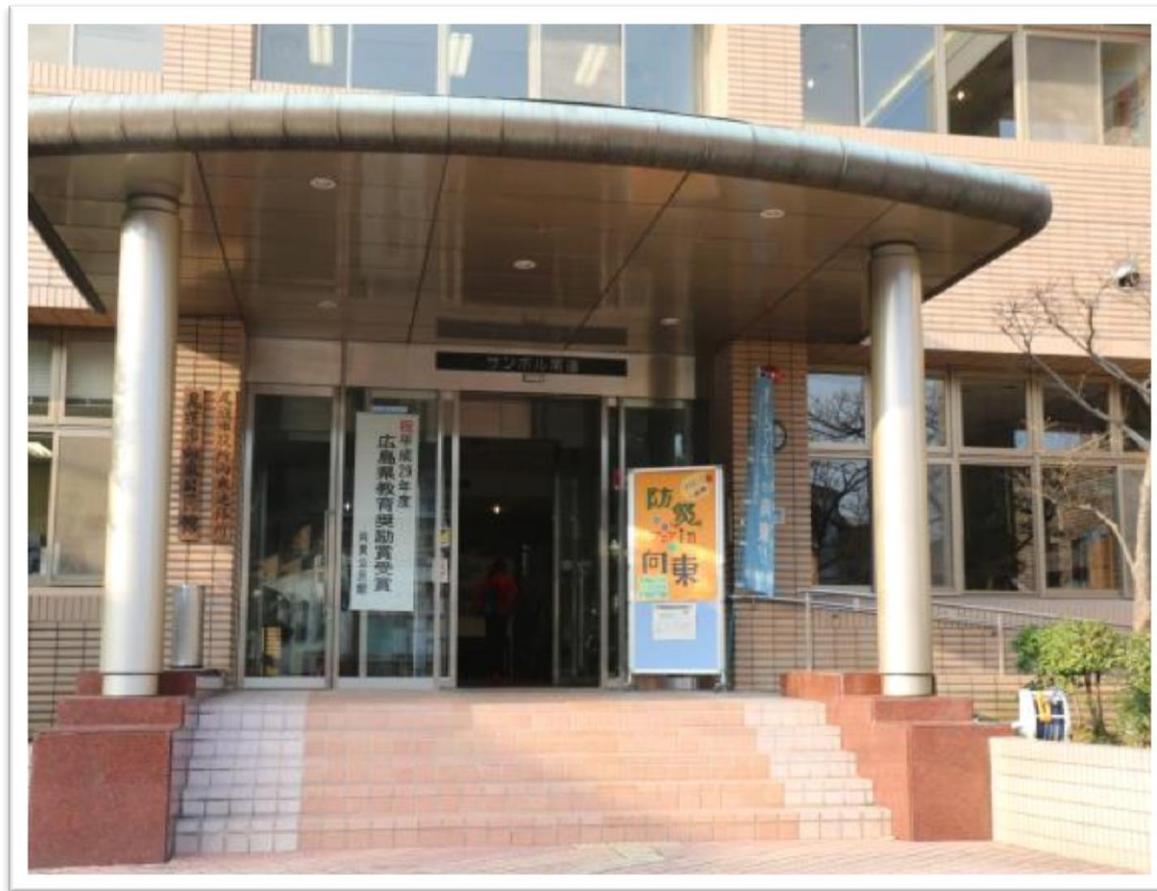


1月13日（土）役割等の打ち合わせ会





1月21日（日）「防災フェア in 向東」当日



入口風景

●防災グッズの展示と説明



● 負傷応急処置の方法



●防災クイズ大会



●防災マップづくり



●段ボールで簡易トイレづくり



●炊き出し体験



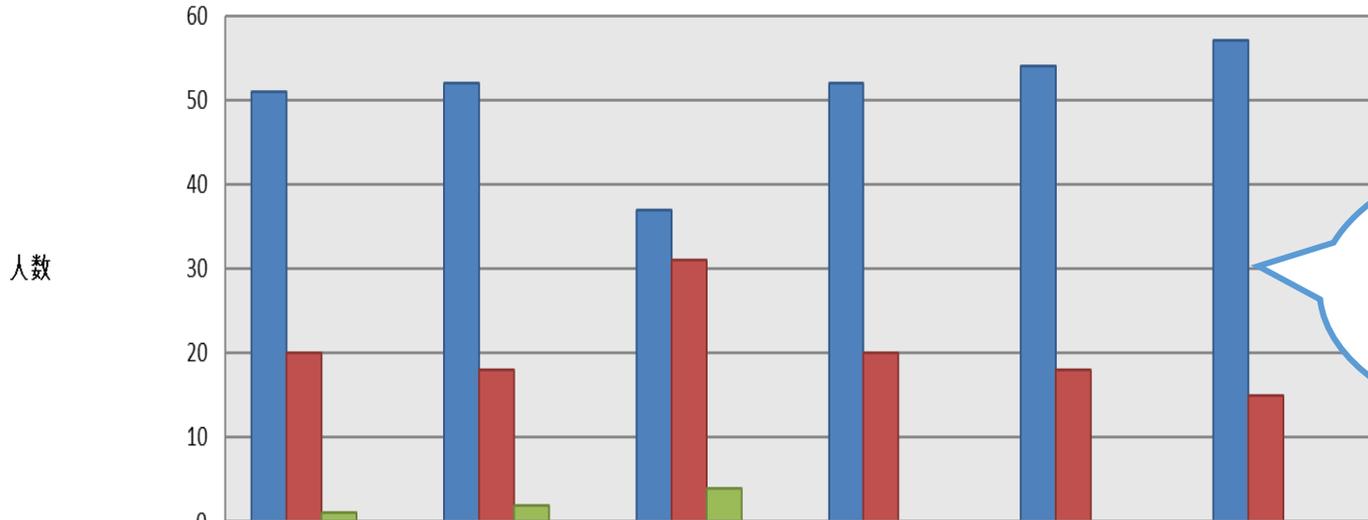
● 講演

「自助・互助・共助によるまちづくり－東日本大震災の体験を通して－」
NPOおのみち寺子屋理事長 柿本 和彦氏



評価

「防災フェア」 アンケート 大人



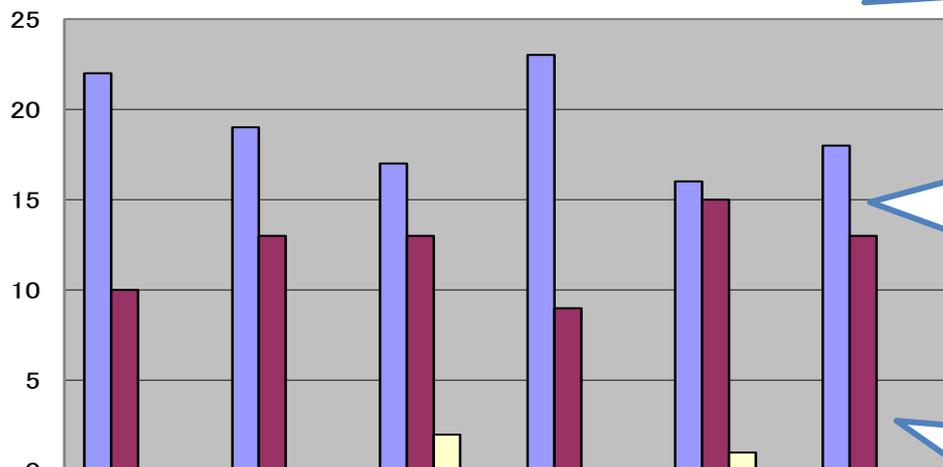
各種団体、子供たちや地域の大人たちが協力して意見を出し合い主体的に運営している姿をみて、向東の地域力の強さを感じた。

子供たちが素直で前向き。防災フェアの目的が達成できた。
(地域の防災力向上、他)

子供たちのボランティア募集は、地域の行事を整理すれば児童の自主的応募が増えると思う。

「防災フェア」 アンケート 小学生・中学生

人数



| 回答 | ① 「防災フェア」は、これから向東町の人たちの役に立つと思う。 | ② 「防災フェア」で、災害の時にできることを学ぶことができた。 | ③ 大人と子どもがいっしょに活動することで、3世代(老人・親・子ども)の交流ができた。 | ④ 安心・安全に暮らしていくために、地域の人たちのつながりが大切だと思った。 | ⑤ 地域の人たちといっしょにした行事で、自分も向東の町を良くしたいと思うようになった。 | ⑥ 向東公民館は、向東町のために役に立つことをしていると思う。 |
|------------|---------------------------------|---------------------------------|---|--|---|---------------------------------|
| 1・非常にそう思う | 22 | 19 | 17 | 23 | 16 | 18 |
| 2・そう思う | 10 | 13 | 13 | 9 | 15 | 13 |
| 3・余り思わない | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 |
| 4・ぜんぜん思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

年齢に関係なく交流できて、良かったです。とても、楽しかった。

小中学生だけでなく、高校生、大学生も参加でき触れ合える行事があれば良い。

また、防災フェアをすればいいと思う

おとなの人たちといっしょに、向東の町たんけんをしたら、町のことがわかるのでいいと思う。

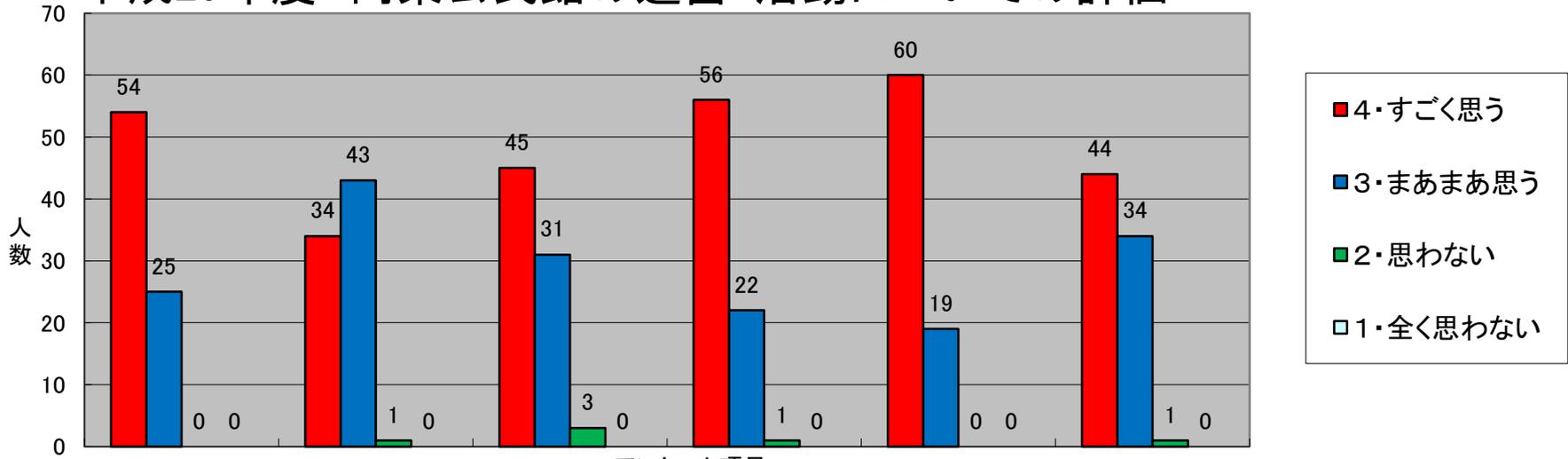
「防災フェア」成果と課題

| | |
|--------|--|
| 成 果 | <ul style="list-style-type: none">○地域住民の当日参加が100人近くあり防災意識の高さが伺えた。(スタッフは109人・計201人)○向東町の16の団体を網羅して、ひとつの行事に向けて協働できた。○子ども達が、準備の段階から自主的・積極的に関わり生き生きと活動していた。防災意識の育成に繋がった。○どのブースも大人のスタッフが、子ども達を全面的に支援・指導して活躍の場を与えた。 |
| 課 題 | <ul style="list-style-type: none">●当日の子どもの参加数が少なかった。特に中学生の当日参加は無かった。(スタッフとして参加のみ)●大人と子どもと一緒にあって行事を行ったが、三世代交流ができたと感じた人の割合が低い。(アンケート結果より)●行事がひとつのイベントとして終わらないようにするために、今年の事業が来年度の事業に繋がるよう連続性を持たせたい。 |

向東公民館におけるPDCAサイクル

- ・ 公民館利用者（講座等の団体），地域の方に年度末にアンケートを実施（28年度～）

平成29年度 向東公民館の運営・活動についての評価



① 公民館が、地域の活性化に向けて活動していることが理解できる。

② 「公民館だより」は公民館の様子がよくわかる内容である。

③ 公民館の活動や行事予定がわかるよう、館内に工夫が見られる。

④ 自主講座、主催講座は多様に開設している。

⑤ 館長は、講座、サークルの活動や行事等に、理解を示し、協力や支援をしている。

⑥ 公民館利用者や地域住民の声を吸い上げ、ニーズに答えている

アンケートや
普段の聴き取りから見えてきたものが次へと
続く……

平成30年度に向けて

継続すること・・・繋がりあう
地域のネットワークづくり

新しくめざすこと・・・**地域への愛着**
誇れるまちづくり

地域の活性化へ貢献する公民館

●平成30年度事業計画



地域活性化は【ふるさとへの愛着】から

環・輪・和・話で繋がりあう

地区各種団体

- 公民館主催講座 5講座
- 公民館自主講座 43講座
- 各主催・自主活動以外の事業や講座

オンリーワン事業 おのみち旬食発見講座 こどもモノづくり講座
公民館活動者ボランティア体験講座

公民館活性化モデル事業（広島県公民館連合会より2年目の指定）11月17日

●地域課題や地域交流に関するもの

防災講座 救急講座 子育て支援 老人介護 認知症予防 小・中学生と大学生の学習コラボ 小学校クラブ活動と教室の連携

保幼小中学校

公民館の参観日（第6回公民館まつり

平成30年11月3日（土）準備

4日（日）発表

舞台発表 展示発表 体験教室

※実行委員会を立ち上げて細部の検討をする。

子育て支援

保育所・幼稚園・小学校・
中学校・
子育て支援センター・サロ
ン等との関わり

各種団体連携

地域活性化まちづくり
公民館活性化モデル事業

広報活動・・・毎月公民館だよりの発行 行事黒板の活用 主催講座案内のパンフレット配布
環境整備・・・講座・教室等の作品紹介 生花 フロアー環境の工夫
その他・・・適宜アンケートの実施

地域の宝を探せ大作戦

～環・輪・和・話で繋がるまちづくり～

スタンプラリーで宝さがし



平成30年11月17日（土）9：00～

当日までの活動内容と日程

- ① 公民館協議会で具体的企画・立案 . . . 8月25日(土)
- ② N P O法人大学生との打ち合わせ . . . 9月2日(日)
・スタンプラリーのポイント場所, 課題設定について打ち合わせ
- ③連携団体へ実施説明会 9月10日(月)
- ④ N P O法人大学生が具体的企画・準備 . . . 9月10日~11月9日(金)
- ⑤ 連携団体と子ども達との具体的活動の打ち合わせ
. . . 11月9日(金)10日(土)11日(日)
- ⑥ 前日準備 . . . 11月16日(金)
- ⑦ スタンプラリーでまちめぐり . . . 11月17日(土)

「地域の宝を探せ大作戦」連携団体

区長会、社会福祉協議会、公衆衛生推進協議会、
民生委員会、青少年健全育成連絡協議会、
体育協会、女性会、地域包括支援センター、
向東中学校、向東小学校、向東小学校 P T A、
向東中学校 P T A、N P O 法人おのみち寺子屋

13団体

11月11日（日）打ち合わせ会



大学生のリードで中学生や小学生が楽しそうに話し合っているグループ。準備の制作物にとりかかっているグループ。どのグループも自主的・主体的に活動。

11月17日（土）「スタンプラリー」当日



西金寺で、短歌を詠む課題を説明するスタッフと、それを聞くメンバー。

女性会の方たちのぜんざいづくり。



大町海岸でスタッフが考えた言葉を大声で叫んで声量を測定し、順位を決定。

胡神社でスケッチに挑戦。参加者全員本気！！

今日一日は、世代を越えて繋がりみんな笑顔です。大人の子どもを見る目があたたかい。

この笑顔が、次世代を担っていく子ども達のエネルギー源だと確信しています。



この行事を通して、様々な人たちが様々な宝（歴史に残るお話、神社仏閣、豊かな自然、そしてこの日に集った人々のあたたかい絆、当日までの準備での繋がり等）を見つけました。

中でも、「短歌をつくろう」の課題で次のような短歌を詠んだグループがあったことは、大きな成果です。

秋の道

子らの笑顔と
はずむ声
東の町の
宝とならむ



公民館の自主講座の講師が 小学校のクラブ活動の指導者に

クラフト教室の講師が工作クラブ



箏曲教室の講師が琴クラブへ



お茶教室の講師がお茶クラブへ



囲碁教室の講師が囲碁将棋クラブへ





おのみち寺子屋チームが
学習指導



平成30年度

尾道市立向東小・中学校コミュニティスクール設置

地域と学校が密接に繋がる

公民館長がコーディネーターに指名される

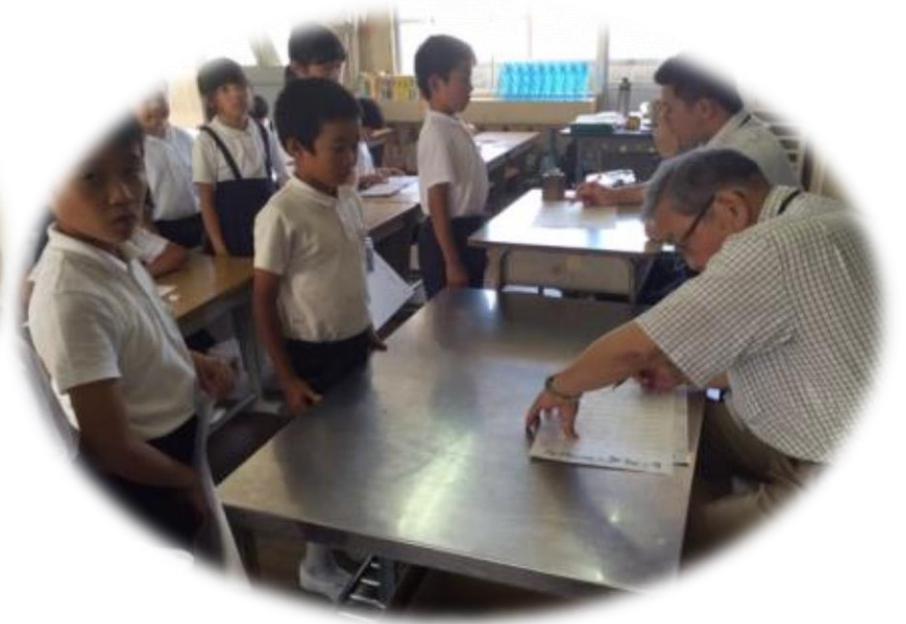
学校から、地域の支援を要望された場合、支援内容について検討し学習の目的について学校と密に連携したうえで、コーディネーターが学校支援ボランティアとの調整を行う。

公民館長が、コーディネーターになったことで、

公民館と地域と学校が密接に繋がる

繋がりがあってまちづくり

●赤ペン丸つけ先生



各クラスのぐんぐんタイムへ地域の
人材がボランティア。
担任と2人体制でテストやドリルの
丸つけ作業。

●防災学習を区長さんが指導



●4年生の総合学習へボランティア（将来なりたい自分へ）



ピアニスト



新聞記者



看護師



会社社長



大学生（今年度春から小学校の先生）



**繋がりがあうことで、地域が子どもを育てる。
子どもが大人を育てる。**

ご清聴ありがとうございました。